

令和3年度（一社）岐阜県臨床検査技師会 精度管理事業部総括集発刊にあたり

（一社）岐阜県臨床検査技師会
会 長 浅野 敦

新型コロナウイルス感染症の発症から間もなく2年となりますが、いまだ終息の見通しはなく一定の行動制限を伴う生活が継続している状況です。岐阜県臨床検査技師会では、昨年の経験を参考に、WEBを有効に用いて各事業部が活動の活性化を図ってきております。このことは会員の皆様にもご理解をいただいております。各イベントへの参加も積極的であると見受けられます。

岐阜県臨床検査技師会の精度管理事業部は、今年もJAMTQCの申し込み、会員への案内、試料調達・設問設定、試料発送・調査実施、集計・評価、総括集発刊と1年を通して活動していただきました。この間、精度管理事業部は、幾度となく確認や調整のためのミーティングを重ね、時間を費やしていただいていることを会員の皆様にはご理解いただければ幸いです。お陰を持って、外部精度管理調査への申し込みも74施設からいただき例年通りの参加数を維持できております。

さて、日本臨床衛生検査技師会では、臨床検査の精度や価値の向上を図る観点から、「日臨技精度保証施設」を全面的に見直し、新制度となる「日臨技品質保証施設認証制度」へ来年度より移行することとなりました。大きな改訂は、

1. 「医療法の一部を改正する法律(平成29年法律第57号)」を順守することを基準とする。
2. 現行の認証対象である「臨床化学」及び「血液」から、最大10部門(臨床化学、血液、一般、免疫血清、微生物、輸血、生理4分野、病理、細胞)まで拡大する。
3. 臨床検査標準化に向け、自施設の検査体制を構築し、さらに「日本臨床衛生検査技師会が実施する外部精度管理調査」に継続的・積極的に参加し、その精度が一定以上の基準を満たし、さらに是正改善に積極的に取り組まれていることが確認されること。

以上の3点とされています。精度管理の重要性・必要性がさらに高まることを指し示すものであり、岐阜県臨床検査技師会としてもこの方向性を推奨し、岐阜県内の検査機関に寄与できるよう活動を継続していきたいと考えています。

最後に、岐阜県臨床検査技師会 精度管理事業の実務にあたっていただいている精度管理事業部ならびに学術部門委員のご尽力に感謝申し上げます。また、事業部の活動に際してご協力いただきましたご施設にもお礼申し上げます。